

報道機関各位

長岡市和島支所地域振興・市民生活課長



良寛の里美術館・春の企画展で 貞心尼を描いた絵画を初公開

道の駅良寛の里わしま・良寛の里美術館では、郷土が誇る歌人・書家である良寛と貞心尼の魅力を紹介する企画展や特別展を、年間を通して開催しています。

4月6日からは企画展「良寛をめぐる人びとと良寛の魅力ー貞心尼を中心にー」を開催し、日本画家・羽鳥絹世氏による貞心尼画「晩秋の露」が初公開されます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

良寛の里美術館企画展①

「良寛をめぐる人びとと良寛の魅力ー貞心尼を中心にー」

- | | |
|--------|--|
| 1 日 時 | 4月6日(土)～5月6日(休・月)
午前9時～午後5時(毎週月曜休館) |
| 2 会 場 | 良寛の里美術館(長岡市島崎 3938) |
| 3 見どころ | 良寛の遺墨だけでなく、その影響を受けた文人や歌人の作品を展示し、その魅力に迫ります。
特に、良寛の愛弟子であり、良寛の和歌などを収めた「蓮の露(はちすのつゆ)」を編さんした、貞心尼を中心とした展示を行います。
また、日本画家・羽鳥絹世氏*が「蓮の露」にある良寛と貞心尼の唱和の歌をモチーフに、貞心尼を描いた「晩秋の露」が初公開されます。 |
| 4 展示内容 | 良寛、貞心尼、羽鳥絹世、牧野忠利、片山翠谷、河井継之助、小坂伝之助、江副浦郎、西郡久吾、相馬御風、景丘治彌 ほか |
| 5 その他 | 良寛の里美術館・展覧会の年間計画は、添付リーフレットを参照してください。 |



↑「晩秋の露」

※羽鳥絹世氏 略歴

日本画家。1950年新潟県松代町苧島(十日町市)生まれ。幼少期より志村立美や岩田専太郎などの美人画(挿絵)に興味を持ち独学で研さん。昭和42年 小学館のジュニア文芸(旧女学生の友)新人イラストレーター(挿絵)公募展で入賞、初めて作品が雑誌に載る。叙情挿絵の研さんの方、日本画の技法を学び独自の世界観を見出す。一時期(約17年間)制作活動から離れるが、1988年頃から本格的に再開。2003年 雅号を絹代から絹世に改名、海外出品を重ね、2009年 目標だったル・サロン(フランス)に出品。その後プロに転向した。

問い合わせ：和島支所地域振興・市民生活課 池田
TEL 0258-74-3114

良寛の里美術館、及びはちすば通り周辺にある
歌碑や史跡にはQRコードが設置してあり
スマートフォン等で読み込むと
音声と動画でわかりやすく説明がご覧いただけます。



展覧会と併せ、
四季の風情あふれる
はちすば通りの歌碑巡りへ
お出かけください。

入館料

大人	大人団体	小人	小人団体
500円	400円	300円	200円

※20名以上の団体様は団体料金となります。
※3館共通割引
出雲崎町良寛記念館・燕市分水良寛史料館
いずれかの入館券の提示で100円割引いたします。
※その他割引制度あります。



良寛の里美術館

〒949-4525 長岡市島崎3938番地【道の駅良寛の里わしま内】

TEL.0258-74-3700 FAX.0258-74-3702

開館時間 / 午前9時～午後5時

休館日 / 12月29日～1月3日

毎週月曜日(月曜が祝休日の場合はその翌日)

※展示替え期間は休館(応相談)



良寛の里
わしま



長岡観光ナビ
(良寛の里美術館)



和島観光協会



良寛の里美術館

令和6年度展覧会のご案内



良寛をめぐる人びとと良寛の魅力

良寛は仏教に参研し、漢詩や和歌、そして書に心を託しました。こだわりのない境地から生み出された自由な精神と心の豊かさに溢れた作品は大勢の人々を惹き付けてやみません。良寛の魅力を三期に分けて紹介します。

企画展①

4月6日(土)～5月6日(月・休)

「貞心尼を中心に」



貞心尼
和歌「桜ちる木…」



片山翠谷(初代)
「長岡城下年中行事図繪…」
長岡市立中央図書館 蔵

- ・良寛
- ・貞心尼
- ・牧野忠利
- ・片山翠谷
- ・河井継之助
- ・西郡久吾
- ほか

企画展②

【前期】5月11日(土)～6月9日(日)
【後期】6月13日(木)～7月7日(日)

良寛を敬愛した文人・画人①



良寛「生涯身を立つるに…」

- ・良寛 ・貞心尼 ・牧野忠精 ・河井継之助
- ・小林虎三郎 ・三島億二郎 ・以南 ・由之
- ・津田青楓 ・相馬御風 ・鈴木牧之 ほか

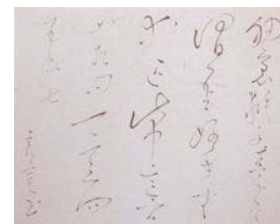


津田青楓
「良寛詩 ながめこし…」

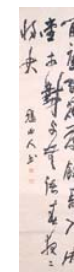
企画展③

【前期】9月21日(土)～10月27日(日)
【後期】10月31日(木)～11月24日(日)

良寛を敬愛した文人・画人②



良寛「袖裏の穂子直千金…」
(貼り交ぜ屏風より抜粋)



松岡 譲
「良寛詩・問庭百花発…」
長岡市立中央図書館 蔵

- ・良寛
- ・貞心尼
- ・松岡譲
- ・堀口大學
- ・西郡久吾
- ほか

特別展

【前期】7月13日(土)～8月12日(月・休)
【後期】8月16日(金)～9月16日(月・祝)

描かれた良寛さま展

— 絵画と絵本のなかの良寛像 —

良寛の姿を最初に紹介した印刷物は『良寛道人遺稿』(慶応3年刊)巻頭の良寛の肖像でした。その後、長岡ゆかりの高村真夫、水島爾保布ら画人たちが、独自の視点で良寛を描きました。昭和に入ると良寛の逸話を紹介する絵本や児童書が多数刊行され、特に長岡出身の童画家の川上四郎は昭和18年以降、数冊の絵本を手掛け、子どもたちにとって良寛はより身近な存在になっていました。本展では、時代を追って、絵や挿絵、絵本のなか描かれた良寛像を見ていくことで、良寛の魅力がどのように捉えられてきたのかを探ります。

- ・良寛 ・西郡久吾 ・川上四郎 ・堀口九萬一
- ・水島爾保布 ・宮田慈泉 ほか



川上四郎「みちづれ」
「てんでん手まり」
湯沢町教育委員会 蔵



高村真夫「良寛図」
長岡高校記念資料館 蔵

所蔵品展

2月8日(土)～3月31日(月)

第9回 和島地域及び近隣の所蔵品展

和島地域及び近隣地域には、県内外の文人・画人たちの作品が多く収蔵されています。今回も地域の皆さんが所蔵されている貴重な作品を出品していただき展示します。軸、額、屏風など普段見ることのできない作品をゆっくりご鑑賞ください。



立石春美「湯ノ香」



穂刈春雄「高原に咲く」



竹内蘆風「十六羅漢図」

令和6年度 展示スケジュール ※日程・展示内容は予定ですので、変更する場合はご容赦ください

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
良寛をめぐる人びとと良寛の魅力											
企画展①	企画展②【前編】	企画展②【後編】	特別展【前編】	特別展【後編】	企画展③【前編】	企画展③【後編】	館内工事のため休館予定		所蔵品展		
↑ 貞心尼を中心に ↑ 良寛を敬愛した文人・画人① ↑ 描かれた良寛さま展—絵画と絵本のなかの良寛像— ↑ 良寛を敬愛した文人・画人② ↑ 第9回 和島および近隣地域の所蔵品展											